

白神プロジェクト・フィールドワーク

令和5年9月8日（金）、雨天のため順延していた白神プロジェクトのフィールドワークを行いました。2年生は予定していたオオバコの駆除（オオバコバスターズ）のための山道に入ることができず、内容を変更して計画を立てました。幸いにこの日は天候にも恵まれ、変更後に予定していた計画を実行することができました。

1年生と3年生は藤里町粕毛地内で植林を行い、植林の記念標柱を立ててからくるみ台のキャンプ場で昼食をとり、岳岱（だけだい）自然教育林の散策をしました。



植林の様子（3年）



植林の様子（1年）



記念標柱の建立（1年・3年）



植林記念撮影（1年・3年）



ジオパークにて（2年）



留山散策（2年）

2年生はジオパークの見学を行ってから白瀑（しらたき）神社で昼食をとり、留山（とめやま）散策を行いました。

白神プロジェクトの目的は、『白神山地を教材とした白神学習を通して、世界自然遺産「白神山地」の魅力伝えることのできる生徒を育成する。』です。

白神山地の自然に触れ、地元の自然遺産を大切にすることをはぐくみました。